

朝の礼拝

聖書 マタイ 7章 28, 29 節 (新約聖書 12 頁)

イエスがこれらの言葉を語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。彼らの律法学者のようにではなく、権威ある者のようにお教えになったからである。

### 驚きから

先週の英和祭、卒業生が来校してくれました。ある卒業生が「校長先生、大学の法学の授業がわかりません」と困った顔で言いました。私も「大学1、2年の時はさっぱりわからなかった」と答えました。特に哲学、社会学、心理学は好きでしたが、大学1年の時はさっぱりわかりませんでした。正直、ショックを受けました。でも、それが私の学びの始まりでした。

イエスが山上の説教を終えられると、群衆はその教えに「驚いた」とありました。理由は「律法学者のようにではなく」とあります。律法とは現在の旧約聖書、特に最初の五書です。さらに彼らは別に細かい規定を定め、それを守ることが神の前に義しい人のあり方だと自認していた指導者たちです。まるで教科書のような神の民の鑑です。

だから彼らの言動には誰も驚きはしなかったのです。教科書ですから疑う余地すらなかったのです。ところがイエスは「あなたがたも聞いているように」と言っては新たに教え、また「あなたがたは地の塩、世の光だ」とたとえで話し、「その日の苦労は、その日だけで十分である」とすっと肩の力が抜けるような話もしたのでした。しかし誰も何のことかわからなかったのです。

そして「権威ある者のように」とありました。おそらく誰かを批判するわけでもなく自由に話されたのではないのでしょうか。そして群衆の驚く様子を微笑みながら見つめていたと思います。律法学者から言われたことを鵜呑みにするのは違い、自ら学び、自ら考えるというのは、初めは何もわからなく、啞然とするような驚きから始まるのでしょう。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたの計り知れない御恵みに感謝します。先週は悪天候の中にも大勢の方々が英和を訪れてくれました。これも毎日カウントダウンする生徒会、広報局のインスタ発信など、また英和生たちの楽しく、有意義な企画の賜物です。そしてフードロスやこども食堂への活動を通して、身近な地域の課題を企業の皆さん、静岡県庁自治体の方々と共に考え、体験できたことも恵みでした。どうか英和生たちの自ら学び、自ら考える喜びを祝福してください。そしてどうか今も災害、争いにある人々を覚えて共に祈り、わたしたちを平和の器として用いてください。今日からカナダの姉妹校セント・マーガレット・スクールからポーラ先生始め、七人の姉妹ジーナ、オードオリュー、シャーロット、イザベラ、ヤンニー、ナンシー、モリーを迎えます。短い間ですが、姉妹校のよき交わりを祝福してください。また心身に苦しみを覚える家族、友人を覚えて祈ります。どうかその艱難を耐え、御心ならばひと時でも早く回復の時を与え、共に喜びと感謝を献げることができますように導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン